

平成 23 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会

主な Q & A

- Q 下期経費の増加要因は第 3 世代 A T M（新型 A T M）導入によるものか。
- A 下期経費の計画比増加要因のうち第 3 世代 A T M 導入によるものは、第 3 世代の導入本格化が年明けになることもありそれ程多くない。その他は A T M 台数と取引件数が増えることに伴うオペレーションコストや海外送金等の新サービス推進のために要する費用。
- Q 2011 年度上期はノンバンク取引の減少傾向が改善してきたようだが、ノンバンク取引の前年比実績がプラスに転ずるのはいつ頃の見込みか。
- A 前年比プラスになるのは来年くらいと見込んでいる。
- Q 上期の減価償却費 57 億円の内、A T M 分はいくらか。2012 年度の第 3 世代導入が 4,000 台とすると同年の減価償却費は過去最大の 150 億円レベルになると思われるが。
- A 上期の A T M の減価償却費用は償却費用総額のおよそ半分。減価償却費は今年度通期で 130 億円の計画で来年度は今年度比プラス 20 億円程度。減価償却費のピークは 2014 年度になる見込み。
- Q 貴社のビジネスモデルは独占なので、第 3 世代 A T M を導入しなくても競争力は保てるのではないかという株主の声がある。
- A 第 3 世代導入に際しては第 2 世代を継続使用することも検討した。比較に際しては第 2 世代のメンテナンスコストと第 3 世代の新規導入に要するコスト比較に加え、第 3 世代によるオペレーションコストの削減効果や増収効果、更に顧客満足度等を加味して総合的に判断した。A T M サービスの品質は「提携先の A T M を担っている」当社ビジネスの性質からも「命」と言えるものであり、経費のみではなく、多面的な比較検討を行ったものである。
- Q 海外送金サービス実施において留意していること。
- A 海外送金サービスで最も留意しているのはマネーロンダリング対策。口座開設時に本人確認を実施するほか、送金先、送金目的、上限金額等を予め登録するようにしている。

以上